

# 9月の野菜の見通し

| 品目   | 区分 | 入荷量(t) |          |       | 単価(円/kg) |          |       | 山形県産前年実績 |          | コメント   |
|------|----|--------|----------|-------|----------|----------|-------|----------|----------|--|
|      |    | 前年実績   | 前年比見込(%) | 5カ年平均 | 前年実績     | 前年比見込(%) | 5カ年平均 | 前年入荷量(t) | 前年占有率(%) |  |
| ねぎ   |    | 4,404  | 102%     | 4,743 | 376      | 88%      | 318   | 386      | 8.8%     | 盆明け後は降雨により出荷作業進まず急騰したが、東北・北海道産とも作柄は平年作の見込み。月計の予想入荷量は前年比102%と微増。月通じて入荷量は不足なくあり、中旬には引合い弱まり下げ気配強まる見込み。価格は基調高値の前年比安も平年比ではやや高。  |
| きゅうり |    | 7,626  | 95%      | 7,427 | 314      | 102%     | 317   | 331      | 4.3%     | 8月の曇雨天により、東北産地は生育停滞し、品質低下が散見される。関東産の抑制タイプも生育遅れが見られる。今後の天候条件と遅れの回復次第だが、9月は平年作を若干下回り、月計の予想入荷量は前年比95%。中旬は東北産が終盤で少なく、関東産は出遅れで端境となり、上げ気配強まるが、下旬は関東産が出揃い下げの展開が予想される。価格は前年、平年とほぼ変わらず。 |
| なす   |    | 3,281  | 前年並      | 3,238 | 387      | 99%      | 351   | -        | -        | 現状、関東産は8月の降雨、日照不足で品質低下し、入荷少ない状況にあるが、今後は天候回復とともに数量、品質とも回復の見込み。作付面積は前年と変わらず、月計の予想入荷量は前年と横ばい。9月上旬は入荷少なめの中、秋商材としての需要強まる見通し。下旬に高知産が始まると、関東産の引合い弱まり、下げ気配強まる見込み。価格は前年並みで平年よりやや高。      |
| トマト  |    | 8,556  | 90~95%   | 7,781 | 329      | 116%     | 384   | 126      | 1.5%     | 北海道産、東北産、関東産とも7月の高温による花飛び、8月の日照不足のため、月計の予想入荷量は前年比90~95%。花飛びと着色遅れの影響により、8月後半から9月上旬まで入荷少なく、相場は強めで推移する見通し。中旬は遅れ分のずれ込みと関東産の抑制タイプの山が重なり、下げ気配強まる見込み。価格は基調安の前年比高も平年並み。                |
| ピーマン |    | 2,294  | 90%      | 2,127 | 309      | 136%     | 356   | -        | -        | 茨城産、東北産とも8月の日照不足、低温による遅れから回復に向かう見込みも、生育環境は前年を下回り、月計の予想入荷量は潤沢入荷した前年の9割レベル。東北産は8月後半から品薄高で推移しているが、9月に入り終盤を迎え、上旬は絶対量不足により上げ気配強まる。下旬は高値疲れと茨城産の秋作の増量により下げの見込み。価格は前年、平年比でも高。          |